



2021年3月期 第3四半期決算短信(日本基準)(連結)

2021年2月12日

上場会社名 日新商事株式会社

上場取引所 東

コード番号 7490 URL <https://www.nissin-shoji.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 筒井 博昭

問合せ先責任者 (役職名) 取締役経営企画部長 (氏名) 柴崎 正典

TEL 03-3457-6254

四半期報告書提出予定日 2021年2月12日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2021年3月期第3四半期の連結業績(2020年4月1日～2020年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第3四半期	39,025	16.6	736	372.8	909	197.5	1,579	533.0
2020年3月期第3四半期	46,803	5.9	155	34.1	305	21.5	249	27.3

(注) 包括利益 2021年3月期第3四半期 1,729百万円 (356.4%) 2020年3月期第3四半期 379百万円 (%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期第3四半期	234.84	
2020年3月期第3四半期	37.10	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年3月期第3四半期	32,838	19,165	57.4
2020年3月期	31,229	17,570	55.4

(参考) 自己資本 2021年3月期第3四半期 18,846百万円 2020年3月期 17,295百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期		9.00		11.00	20.00
2021年3月期		9.00			
2021年3月期(予想)				9.00	18.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2021年3月期の連結業績予想(2020年4月1日～2021年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	54,000	12.9	850	177.4	1,000	117.8	1,520	580.8	225.97

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

連結業績予想については、本日(2021年2月12日)公表いたしました「業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- | | |
|--------------------|-----|
| 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 | : 無 |
| 以外の会計方針の変更 | : 無 |
| 会計上の見積りの変更 | : 無 |
| 修正再表示 | : 無 |

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2021年3月期3Q	7,600,000 株	2020年3月期	7,600,000 株
期末自己株式数	2021年3月期3Q	873,496 株	2020年3月期	873,496 株
期中平均株式数(四半期累計)	2021年3月期3Q	6,726,504 株	2020年3月期3Q	6,726,504 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。なお、業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間のわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大が長期化し、経済活動が大きく制限されたことにより、企業収益が大幅に減少するとともに、個人消費が低迷しました。政府は持続化給付金や雇用調整助成金の特例措置拡充等の政策を実施し、経済との両立を目指していますが、景気の先行きは依然として不透明な状況です。

石油製品販売業界におきましては、原油価格は期初に20ドルを割り込んだ後、当第3四半期末にかけて主要産油国の増産抑制や、経済活動の回復による原油需要拡大への期待等から50ドル前後まで緩やかに上昇しました。国内石油製品価格は原油価格の影響を受けて、4月から5月にかけて一時低下しましたが、その後ガソリンの需要が回復したこと等により12月にかけて緩やかに上昇しました。国内石油製品需要は、新型コロナウイルス感染症の影響による外出自粛や訪日外国人観光客向けのバス需要低下等により、ガソリンや軽油の需要が低下したこと等を受けて、全体として前年同期を大幅に下回りました。

再生可能エネルギー業界におきましては、12月に政府の成長戦略会議で2050年に温室効果ガス排出量を実質ゼロにするとの決定がなされ、2030年代半ばには、乗用車の新車販売を全てEV等の電動車にするとしています。2050年には全発電量の50～60%を再生可能エネルギーで賄うとの目安を示しています。

このような状況下、当第3四半期連結累計期間の当社グループ業績は、長引く新型コロナウイルス感染症の影響を受けて主に石油関連事業全体で販売価格が下がったことや販売数量が減少したこと等により、売上高は39,025,832千円（前年同期比16.6%減）となりました。一方、石油関連事業においてガソリン等の製品市況が安定的に推移したため、前年度と比べてマージンを確保できたこと等により、営業利益は736,529千円（前年同期比372.8%増）、経常利益は909,899千円（前年同期比197.5%増）となりました。親会社株主に帰属する四半期純利益につきましては、川崎充填所跡地の譲渡による特別利益が発生したこと等により、1,579,648千円（前年同期比533.0%増）となりました。

セグメント別及び部門別の状況は次のとおりであります。

<石油関連事業>

石油関連事業全体につきましては、新型コロナウイルス感染症の影響を受けて販売価格が下がったことや販売数量が減少したこと等により、売上高は前年同期比18.5%減の36,219,150千円となりました。セグメント利益は、ガソリン等の製品市況が安定的に推移したこと等により前年度と比べてマージンを確保できたため、前年同期比601.7%増の727,376千円となりました。

(直営部門)

直営部門につきましては、当第3四半期までに他社保有2SS（サービスステーション）の運営継承を行ったものの、燃料油の販売価格が下がったことや販売数量が減少したこと、またカーメンテ商材の販売が減少したこと等により、売上高は前年同期比15.4%減の15,124,693千円となりました。

(卸部門)

卸部門につきましては、販売価格が下がったことや、当第3四半期までに販売店4社の6SSが閉鎖したことによる販売数量の減少等により、売上高は前年同期比28.0%減の4,720,140千円となりました。

(直需部門)

直需部門につきましては、法人向け燃料油カードの発券枚数増加などガソリンや軽油の販売は堅調に推移したものの、販売価格が下がったこと等により、売上高は前年同期比19.8%減の13,341,892千円となりました。

(産業資材部門)

産業資材部門につきましては、農業資材の新規顧客開拓が寄与した一方、石油化学製品の販売数量が減少したことや販売価格が下がったこと等により、売上高は前年同期比4.7%減の2,485,409千円となりました。

(その他部門)

その他部門につきましては、川崎充填所の閉鎖に伴い液化石油ガスの販売数量が減少したこと等により、売上高は前年同期比31.0%減の547,015千円となりました。

<再生可能エネルギー関連事業>

再生可能エネルギー関連事業につきましては、継続的に太陽光発電所やバイオマス発電燃料であるPKS（Palm Kernel Shell：パーム椰子殻）の販売に取り組んだこと等により、売上高は前年同期比72.1%増の1,289,809千円となりました。セグメント利益は、PKSの販売において、新型コロナウイルス感染症の影響により、当初の輸送計画からの変更を余儀なくされ経費が増加したこと等により、前年同期比17.4%減の81,382千円となりました。

<外食事業>

外食事業につきましては、ケンタッキーフライドチキン店は、第1四半期に1店舗を新設したことや新型コロナウイルス感染症の影響によるテイクアウト需要の増加等により、売上高が増加いたしました。しかしながら、法人向け飲料販売において、営業活動の効率化を図るため商流を整理したことや、タリーズコーヒー店において、外出自粛要請による休業や営業時間の短縮対応をしたこと等により、外食事業全体の売上高は前年同期比6.1%減の1,050,953千円となりました。セグメント利益は、ケンタッキーフライドチキン店の売上増加により、14,332千円（前年同期はセグメント損失12,139千円）となりました。

<不動産事業>

不動産事業につきましては、川崎充填所跡地の譲渡による賃料収入が減少したこと等により、売上高は前年同期比0.9%減の465,918千円となりました。セグメント利益は、オフィスビルの修繕を実施したこと等により、前年同期比2.1%減の254,954千円となりました。

(2) 財政状態に関する説明

資産、負債及び純資産の状況

(総資産)

総資産は、前連結会計年度末に比べ、1,609,386千円増加し、32,838,848千円となりました。これは、現金及び預金が1,198,874千円、商品及び製品が313,713千円増加したことなどによるものです。

(負債)

負債は、前連結会計年度末に比べ、14,038千円増加し、13,673,200千円となりました。これは、借入金が1,141,726千円減少したものの、支払手形及び買掛金が612,628千円、未払法人税等が532,692千円増加したことなどによるものです。

(純資産)

純資産は、前連結会計年度末に比べ、1,595,348千円増加し、19,165,648千円となりました。これは、利益剰余金が1,424,526千円、その他有価証券評価差額金が122,963千円増加したことなどによるものです。

この結果、1株当たり純資産は前連結会計年度末と比べ、230.61円増加し、2,801.88円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2021年3月期の通期の業績予想につきましては、2020年11月11日に公表いたしました業績予想から修正いたしました。詳細につきましては、本日（2021年2月12日）公表の「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,673,814	4,872,688
受取手形及び売掛金	6,919,728	6,983,346
商品及び製品	870,824	1,184,538
その他	854,205	932,357
貸倒引当金	△23,742	△14,383
流動資産合計	12,294,831	13,958,546
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	3,435,400	3,334,346
土地	5,590,071	5,540,008
その他(純額)	3,385,634	3,297,749
有形固定資産合計	12,411,106	12,172,104
無形固定資産		
	287,155	222,932
投資その他の資産		
投資有価証券	3,886,519	4,057,397
関係会社株式	1,215,502	1,219,797
その他	1,233,034	1,294,004
貸倒引当金	△98,688	△85,934
投資その他の資産合計	6,236,369	6,485,265
固定資産合計	18,934,631	18,880,302
資産合計	31,229,462	32,838,848
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,662,696	2,275,325
短期借入金	3,278,387	1,598,347
未払法人税等	140,612	673,305
賞与引当金	226,843	125,078
役員賞与引当金	16,150	6,678
資産除去債務	17,160	15,700
その他	1,174,088	1,309,739
流動負債合計	6,515,938	6,004,174
固定負債		
社債	744,000	688,000
長期借入金	4,546,446	5,084,760
繰延税金負債	73,826	163,185
商品保証引当金	6,300	6,300
退職給付に係る負債	964,493	988,588
資産除去債務	228,186	228,156
その他	579,970	510,034
固定負債合計	7,143,223	7,669,025
負債合計	13,659,161	13,673,200

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,624,000	3,624,000
資本剰余金	3,281,625	3,281,625
利益剰余金	9,844,252	11,268,778
自己株式	△643,445	△643,445
株主資本合計	16,106,431	17,530,958
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,265,584	1,388,548
為替換算調整勘定	△18,479	△35,248
退職給付に係る調整累計額	△57,878	△37,426
その他の包括利益累計額合計	1,189,226	1,315,873
非支配株主持分	274,641	318,816
純資産合計	17,570,300	19,165,648
負債純資産合計	31,229,462	32,838,848

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第3四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)
売上高	46,803,593	39,025,832
売上原価	41,310,022	33,086,512
売上総利益	5,493,571	5,939,319
販売費及び一般管理費	5,337,801	5,202,790
営業利益	155,770	736,529
営業外収益		
受取利息	2,098	2,096
受取配当金	142,898	152,104
その他	142,361	165,183
営業外収益合計	287,358	319,383
営業外費用		
支払利息	109,746	101,257
持分法による投資損失	189	12,411
その他	27,391	32,344
営業外費用合計	137,327	146,013
経常利益	305,800	909,899
特別利益		
固定資産売却益	71,754	1,545,800
投資有価証券売却益	45,619	—
受取保険金	25,497	—
特別利益合計	142,871	1,545,800
特別損失		
減損損失	63,608	21,422
工事請負契約解約損	9,400	—
固定資産除却損	—	66,649
投資有価証券評価損	—	5,716
特別損失合計	73,008	93,788
税金等調整前四半期純利益	375,663	2,361,910
法人税、住民税及び事業税	76,982	732,698
法人税等調整額	23,884	25,980
法人税等合計	100,867	758,679
四半期純利益	274,796	1,603,231
非支配株主に帰属する四半期純利益	25,266	23,582
親会社株主に帰属する四半期純利益	249,530	1,579,648

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)
四半期純利益	274,796	1,603,231
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	96,123	121,328
為替換算調整勘定	△8,969	△16,768
退職給付に係る調整額	16,278	20,452
持分法適用会社に対する持分相当額	802	1,635
その他の包括利益合計	104,234	126,646
四半期包括利益	379,031	1,729,878
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	353,764	1,685,703
非支配株主に係る四半期包括利益	25,266	44,174

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				計	調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	石油関連 事業	再生可能 エネルギー 関連事業	外食事業	不動産事業			
売上高							
外部顧客への 売上高	44,465,057	749,501	1,118,718	470,316	46,803,593	—	46,803,593
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	—	—	—	37,476	37,476	△37,476	—
計	44,465,057	749,501	1,118,718	507,792	46,841,069	△37,476	46,803,593
セグメント利益 又は損失(△)	103,664	98,577	△12,139	260,409	450,512	△294,742	155,770

(注) 1. セグメント利益又は損失の調整額△294,742千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない総務、経理等管理部門に係る費用であります。

2. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「石油関連事業」セグメント及び「外食事業」セグメントにおいて、販売マージンの悪化等による事業環境の激変により、継続して損益がマイナスであることから帳簿価額を回収可能価額まで減額し、当該減少額を減損損失として特別損失に計上いたしました。

なお、当第3四半期連結累計期間において「石油関連事業」セグメントで29,195千円、「外食事業」セグメントで34,411千円を当該減損損失に計上しております。

Ⅱ 当第3四半期連結累計期間(自2020年4月1日至2020年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				計	調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	石油関連 事業	再生可能 エネルギー 関連事業	外食事業	不動産事業			
売上高							
外部顧客への 売上高	36,219,150	1,289,809	1,050,953	465,918	39,025,832	—	39,025,832
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	—	—	—	38,354	38,354	△38,354	—
計	36,219,150	1,289,809	1,050,953	504,273	39,064,187	△38,354	39,025,832
セグメント利益	727,376	81,382	14,332	254,954	1,078,045	△341,515	736,529

(注) 1. セグメント利益の調整額△341,515千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない総務、経理等管理部門に係る費用であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「石油関連事業」セグメント及び「外食事業」セグメントにおいて、販売マージンの悪化等による事業環境の激変により、継続して損益がマイナスであることから帳簿価額を回収可能価額まで減額し、当該減少額を減損損失として特別損失に計上いたしました。

なお、当第3四半期連結累計期間において「石油関連事業」セグメントで19,499千円、「外食事業」セグメントで1,923千円を当該減損損失に計上しております。